

子どもとインターネット

院長

今回は、インターネット（以後INET）と子どもについて考えてみましょう。小さなお子さんをお持ちの親御さんが多いと思いますが、将来的に役に立つはずで

NETが、ほぼ半数の家庭で接続できるようになり、子どもたちが巻き込まれる事件も、報道されることも珍しくはなくなりました。子どもが巻き込まれる可能性があるものを取上げ、対策を考えてみます。

1.有害サイト

いわゆる有害サイトと呼ばれるものには、アダルトサイト（ポルノ画像・風俗情報）、暴力的なものや残酷なものを集めたサイト、犯罪や自殺の助長するようなサイト、ドラッグや麻薬に関するサイトなどがあります。

このような偏った情報は、価値観やモラルにも悪影響を及ぼす危険性があります。特に暴力や性に関する情報は、子どもの意識を著しく歪め、健全な心の発達を阻害することも心配されています。

2.出会い系サイト

出会い系サイトと呼ばれるものには、単に見知らぬ人同士の出会いの場を探すものもありますが、一般には男女の交際のきっかけを提供するもの言います。

このようなサイトは犯罪との関連が強く、2004年の出会い系サイトにかかわる事件（警視庁）1,582件のうち、被害者は1,289人で、うち18才未満の児童が1,085人(84%)を占めていました。児童買春・児童ポルノ禁止法違反が768件あり、児童に対する犯罪の温床になっています。携帯を使用した犯罪の割合が高く、考えるべきひとつの問題です。

3.誹謗・中傷

電子掲示板によっては実名をあげ非難や暴露などが可能で、子どもの精神に大きな負担となることもあります。

2004年佐世保市で小学6年生の女兒が、同級生を殺害した事件の背景のひとつに「掲示板に悪口を書かれたから」という理由があると言われています。最近、子どもたちが

日記のように利用しているブログ（: (%/2*）も、匿名で書き込みができるため誹謗や中傷などが集まりやすいことが問題視されています。

4.個人情報

会員登録などの目的で、子どもは簡単に個人情報を提供してしまいます。また、悪意を持って子どもをターゲットとして、個人情報をひきだそうとすることも珍しくはありません。なりすましと称して、大人が子どもを装い接近してくることもある。

個人情報の悪用以外に、嫌がらせ、ストーカー被害だけでなく、犯罪に巻き込まれる危険性もあります。

5.身体的悪影響

PCの長時間利用は、視力や体力の低下など、健康に悪影響を及ぼす危険性があります。モニター画面の凝視、画面からの光刺激で、眼精疲労や近視を招くおそれだけでなく、戸外で活動する時間が減少することにより、体力の低下、肥満、姿勢の悪化を招くと心配されています。

6.心理的悪影響

有害情報の心理的影響だけでなく、ネット上での仮想的な世界に没入し、生活上の支障を引き起こすネット中毒も問題になっています。また、家族や友人とコミュニケーションを持つ時間が減り、孤独感が高まる、抑うつが強まるなどの精神的影響や引きこもりも心配されています。また、テレビなどのメディアと同じように、低年齢では言語など発達に対する影響あると言われています。

INETは様々なメリットがある反面、子どもたちへの直接的、間接的な危険性も潜んでいます。子どもたちを守るために様々な活動が行われ、INET業界、取り締まり、学校などでも対策への取り組みが行われています。家庭へのパソコン（以後PC）の普及が進むにつれ、PC利用の低年齢化が進んでいます。このような状況では、特に家庭での十分な子どもたちに対する教育が重要です。子どもへのINETの教育の多くは保護者が行い、携帯を買い与えるのも保護者です。今後、ますますINETは進展していくはずで、INETの問題も普通のしつけと同じように、考えていかなければならないでしょう。保護者の危険性に関する十分な理解、危険性に対する対策や家庭での決まりなど、子どもをINETの危険から守るための努力が必要です。この記事を読んで、一度INETの問題について考えてみましょう。



5月のお知らせ

- ・栄養育児相談
毎週水曜日 13:30~
栄養士担当、無料

6月の予定

6月11日(土) 午後休診

読者の広場

先月は11通のメールを頂きました。最近少しメールが少なく、淋しい気持ちです。今回は、医療相談や報告のメールがほとんどでした。先月号の記事の感想を宮城野区の板橋さんから頂いたので紹介します。「こんばんは、今日はお世話になりました。久々だったからか泣いてしまいましたね(>"<)クリニックNEWS見ました。一面記事とてもよかったですよ～。なんか先生一日密着という感じで。開業してからなかなか自由な時間もなくな々の懐かしい訪問で新にまた気持ちも若返りしたのでは？文章を読んで改めて先生の偉大さを感じました！まさに伝説の先生に息子を診てもらっているのって自慢になりますね これからも今までと同じようにメール、おかあさんクラブ、診察忙しいと思いますが頑張ってくださいね！」。面白く無い記事かも知れないと気にしていたことを受けてのメールでした。気を使ってくれて、ありがとうございました。続いて、お母さんクラブに関して宮城野区の相沢さんから頂いたものを紹介します。「こんにちは！今日お母さんクラブの更新のお便りが届いたんですが...みなさん赤ちゃんのママが多いですね(!"!)我が家はみんな大きくなり、病気で心配と言うことも少なくなりました。そろそろ卒業なのだと思うのですが...(;";)私的には、せめて仙台にいる間だけでも、そして毎月のクリニックニュースを読みたいなあ...と言う気持ちでいます(!-!)確に...会に参加しても、小さい子向けの対処方だったりしますよね(>"<)クリニックニュースを読むためだけの会員でも、かまいませんか？」。『お母さんクラブ』の本来の目的は、患者さんとのコミュニケーションであり、かかりつけ患者さんへのサービス(?)でもあります。当院のこのような活動を応援してもらうことも、大切なことだと思っています。興味があるけど参加できない、会報や院内報が読みたいだけでも、是非会員のままでいて下さい。実際、参加できない他県の方が会員のこともありました。でも、クリスマス会など、興味がある場合にはぜひ参加して下さいね。



お母さんクラブの御案内

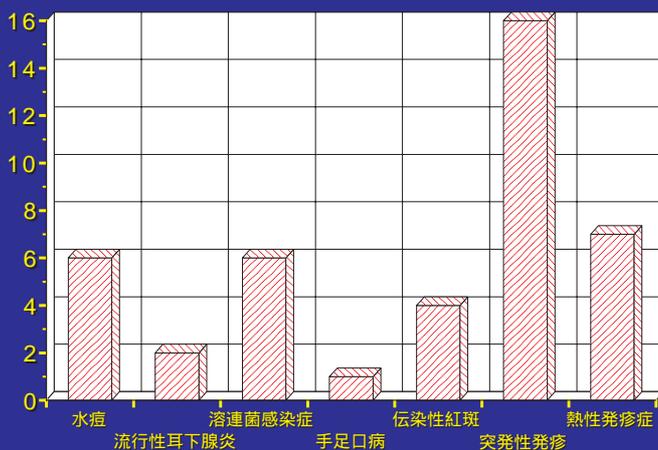
お母さんクラブの会員を募集中です。5月から新年度のお母さんクラブが始まります。

第1回「こどもによく見られる症状・病気と対処法」 5月12日(木)14:00～ 福沢市民センター 会費200円

毎年の定番であるテーマです。子どもの病気を知る上と対応の仕方は、子育ての基本中の基本です。今年も大切なテーマから始めることにしましょう。毎年同じテーマですが、くり返して聞いてもためになるように工夫しています。今年は様々なジャンルでの先生の仕事から、役立つものをピックアップして紹介します。初めての参加はもちろんのこと、以前参加した方々にも役立つこと請け合いです。もちろんいつものように、実際困っていること、心配なこと、気になっていることなどの相談にもお答えします。

また今回は、目玉があります。県立こども病院、リハビリテーション科の奈良隆寛先生が、見学にいらっしゃいます。見学ということですが、こどもの発達の相談にもものっていただけるとと思います。どうぞ御期待ください。また、インドの弦楽器のサラングの演奏もきけるかも知れません。奈良先生はサラング奏者としても有名で、コンサートなどにも招かれています。自分の話より、先生の演奏やお話を聞きたい気持ちで一杯です。せっかくのチャンスです、ぜひ御参加ください。今回は会員以外の方も参加できます。詳しくは、受付まで。

4月の感染症の集計



どうい理由かわかりませんが、突発性発疹症がかなり多く見られました。しかし、その他特に増加した疾患は無く、比較的安定していた1か月でした。グラフには示しませんが、インフルエンザは激減し30名(先月は380名)だけでした。しかしインフルエンザを思わせるような高熱をきたすかぜ(検査では陰性)が多い印象がありました。また、目やにと高熱が出るアデノウイルス感染症が少し増えてきているようです。気温の変動に伴い、喘息のお子さんの症状悪化も増えているようです。

休診に対するお詫びとお礼

ゴールデンウィーク中の4月30日と5月2日の休診の際には、事前に案内をしておりましたが多くの患者さんにご迷惑をお掛けしたと思います。この場を借りて、お詫び致します。お陰様で院長はじめスタッフ一同、十分リフレッシュすることができました。

院長はインターネットの医療相談で知り合ったセブ島の知人を2年連続訪問してきました。日常から離れることの重要性を、感じて帰ってきました。機会があれば、新聞等でぜひ紹介したいと思います。

ご理解とご協力、本当にありがとうございました。

JR福知山線脱線事故に関して

4月末現在、死者が106人にも達した脱線事故は、ここ40年間で最も悲惨な列車事故となりました。亡くなられた方々の御冥福をお祈りすると共に、怪我をされた方の一日も早い回復を願っております。

編集後記

地震、津波などによる被害が落ち着いたと思った矢先、大きな脱線転覆事故が起きました。解明は不十分ですが、今回の事故は人災としか言い様がありません。亡くなられた方々だけでなく、残された御家族の無念さは、はかり知れません。本当に腹がたちます。一日も早い原因究明と共に、せめてもの十分な補償を。



「小児科がやさしく教える 赤ちゃん・子どもの病気」(PHP研究所)

出版社や書店での残部無くなりました。クリニックでの購入もお早めに!!